

令和5年度 学校自己評価 IVY大分高度コンピュータ専門学校

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

①教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は明確化されているか	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、教育人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

〔課題〕

- ・DXが推進される中、業界や高校生のニーズの変化に対応して、教育目標・教育内容の見直しを継続していく必要がある。
- ・学校の理念・目的・育成人材像・将来構想について、学生・保護者等に対する周知の取り組みが不足している。

〔今後の改善方法〕

- ・三つのポリシーについて、ホームページ掲載、印刷物配布等とおして学生・保護者等への周知を図る。
- ・教職員が日常の教育活動の中で、学校の理念・目的・育成人材像を具現化するように努める。

〔特記事項〕

本校教育の三つのポリシーを教職員の協議を経て明確化し、まず教職員での共有を図った。

②学校運営

・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

〔課題〕

- ・改正私立学校法の令和7年4月施行に対応した組織・運営に改めていく必要がある。
- ・業務の効率化により職員の負担軽減と働き方の改革を図る必要がある。
- ・社会や業界の変化に対応した中長期での運営ビジョン・事業計画の見直しが必要。

〔今後の改善方法〕

- ・頑張っている職員を的確に処遇するため、新たな人事評価システムと給与体系の再構築に取り組む。
- ・業務の効率化と職員の負担軽減のため、業務のDXを推進する。

〔特記事項〕

③教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等がおこなわれているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3

・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・教員の能力開発のための研修等が行われているか	3

【課題】

- ・先端の情報教育を行うための、業務経験のある教員の確保に努めたが、さらなる人材確保が必要である。
- ・学生向けのカリキュラムは更新に対応した、教員の能力向上のシステムを充実する必要がある。

【今後の改善方法】

- ・e-learningによる職員研修を一部職員で施行し、次年度以降の導入に向けた検証を行う。
- ・企業連携を推進し、教育内容・実務実習機会の拡充を図るとともに、実践的分野の講師の確保に努める。

【特記事項】

④学修成果

・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

【課題】

- ・卒業生の活躍状況が十分に把握できておらず、本校教育活動に外部の卒業生の力を生かせていない。

【今後の改善方法】

- ・業界の意見聴取により、求められる国家資格・ベンダー資格を目標とする取り組み内容への見直し。
- ・求人企業等への訪問などを実施し、卒業生の活躍状況・評価について情報収集を行う。

【特記事項】

⑤学生支援

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

【課題】

- ・業界および学生のニーズの変化に対応して就職支援の方法を常に更新していく必要がある。
- ・就職課と教務（クラス担任）との情報共有と連携強化を図り、細やかな指導・サポートの実施が必要。

【今後の改善方法】

- ・高等学校段階までのキャリア教育の現状を踏まえ、本校での職業教育・キャリア教育を見直す。

【特記事項】

- ・全学生を対象とした年一回の健康診断を学校行事に組み込み、開始した。

⑥教育環境

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3

・防災に対する体制は整備されているか	3
--------------------	---

[課題]

- ・教育DXに対応した将来構想に基づく、施設・設備の計画的な改修・更新が必要。
- ・最新の地域防災計画に対応した学校の防災計画の整備並びに訓練の実施が必要

[今後の改善方法]

- ・教育DXに対応した施設・設備の中期整備計画を策定し、改修・更新を実施する。
- ・最新の地域防災計画学校に対応した学校防災計画・学校防災マニュアル（危機管理マニュアル）を整備する。

[特記事項]

⑦学生の受入れ募集

・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

[課題]

[今後の改善方法]

- ・学生の就職実績、資格取得の情報に加えて、外部コンテスト入賞などの情報も積極的に広報する。
- ・学校ホームページのリニューアルを行い、有効活用を通じた積極的な情報公開を進める。

[特記事項]

- ・各学科のアドミッションポリシーに対応し、次年度以降の入試問題の改訂を行った。

⑧財務

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

[課題]

- ・中長期的財務基盤の安定のため、18歳人口減少の中でも一定の学生数を確保できる取り組みの創意工夫が必要。
- ・改正私立学校法の施行、学校法人会計基準の改正に対応した財務処理、情報公開の実施に適切に備える。

[今後の改善方法]

- ・学校法人会計基準の改正に対応した、新しい財務・会計の体制を整える。
- ・学校法人会計基準の改正に対応した会計帳簿の備置き、保管、開示の体制を整える。
- ・中長期のビジョン・事業計画にもとづき、中長期の財務方針を整備する。

[特記事項]

⑨法令等の遵守

・法令、専修学校設備基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

[課題]

- ・私立学校法をはじめ関係法令の改正の情報把握と適切な対応を行うシステム作りが求められる。

[今後の改善方法]

[特記事項]

・差別解消法に基づく、令和6年度からの「合理的配慮」提供の義務化への対応として校内ガイドラインを作成、周知を図った。

⑩社会貢献・地域貢献

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

[課題]

・ボランティア活動の本校教育における意義・目的を再確認し、奨励・支援のあり方を改善する必要がある。

[今後の改善方法]

・参加を促す地域貢献活動が、学校で学ぶ知識・技術の活用やコミュニケーション能力の向上等につながるものを中心にする事で、学生の積極的な参加をうながす。

[特記事項]

・県内高校・関係企業・団体との連携による、大分県オリジナルいちご「ベリーツ品質選別A1」システムの開発研究が県内コンテストで最優秀の成績を収めた。

以上が令和5年度の学校評価の結果集計です。様々な課題と改善策について意見をいただき感謝申し上げます。